

第7回 館山市総合計画審議会 会議記録

1. 日時 平成27年9月29日(火) 午後1時30分～
2. 場所 館山市コミュニティセンター 第1集会室
3. 出席者

委員構成	氏名	役職
市議会議員	石井 敏宏	市議会議員
	石井 信重	市議会議員
	望月 昇	市議会議員
	森 正一	市議会議員
教育関係者	半澤 美緒子	館山市教育委員会 推薦
産業関係者	杉井 繁樹	館山商工会議所 推薦
	鈴木 久雄	館山市漁業協同組合連合協議会 推進
	小金 晴男	一般社団法人 館山市観光協会 推薦
	原 徹	公益社団法人 安房医師会 推薦
	須田 敏男	館山市地域公共交通会議 推薦
	吉田 南子	館山市地域包括支援センターなのはな 推薦
知識経験者	石井 久治	館山市町内会連合協議会 推薦
	鈴木 正弘	社会福祉法人 館山市社会福祉協議会 推薦
	忍足 伸一	館山市体育協会 推薦
	古橋 博子	館山市子ども・子育て会議 推薦
	田中 真由	公募委員
	溝口 かおり	公募委員

(欠席者) 澤田委員、高橋委員、池田委員

4. 議題

- (1) 「館山市まち・ひと・しごと創生 総合戦略」素案について
- (2) 第4次館山市総合計画「前期基本計画」素案について
- (3) タウンミーティング実施結果について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) その他

5. 会議の経過

(1) 議事

① 「館山市まち・ひと・しごと創生 総合戦略」素案について

(事務局より説明)

望月委員：資料1の基本目標「“海”の魅力に磨きをかける」の施策に「オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を見据えたまちづくり」とあるが、前回の東京オリンピックのレガシーとして館山市には何が残っているか。

事務局：ハード整備したものはない。体育協会やスポーツ少年団が東京オリンピック前後で組織化され、活動が続いている。レガシーの良い例といえる。

森委員：目標値が基準値から大幅に増えているものもあれば、ほぼ変わらないものもある。目標設定の根拠は何か。

事務局：基本計画と同様で、現状の基準値、過去何年かの実績を勘案し、目標値を設定している。また、単年ではなく5カ年で累計して設定した数値目標もある。高い水準のものも、現実的なものもあるが、現状より高い基準で設定している。

森委員：「“渚の駅”年間来館者数」は目標が高く、達成可能なかどうか疑問。また、「移住件数」は毎年コンスタントに増えてきている。「移住相談件数」は、もう少し高い水準にしても良いのではないか。

事務局：ご意見をいただいたので、再度検討したい。

森委員：KPIの「農産物の規格外品の活用量」など、基準値が横棒（「－」）になり設定されていないものがある。民間でも活用していると思うが、現状値は把握しているのか。

事務局：このKPIは、館山市が取り組んだ中で活用された量を示すものとして考えている。市としてはこれからの取組のため、基準値を示していない。

田中委員：「移住相談件数」の目標値をもう少し増やして良いのではないか。

おせっ会の理事という立場にあり、状況を理解しているが、もう少し高く設定できる感覚がある。また、「観光プロモーション先新規開拓件数」の「観光プロ

モーション先」とは具体的に何を指すのか。

事務局：「移住相談件数」は増やす方向で検討したい。「観光プロモーション先」とは、館山市から出向いたりして宣伝する先になる。平成26年度は、年間で75回実施しているが、今まで対象としていない地域など開拓していきたい。

田中委員：「ふるさと回帰フェア」や農産物のフェアも含めるか。

事務局：観光PRにつながるキャンペーン先やプロモーション先をすべて含めることで考えている。

田中委員：平成26年度の観光プロモーション実施件数が75件に対し、5カ年の累計の目標値では減っているのはなぜか。

事務局：これは、新しいプロモーション先を年間で10件開拓していくということで、現状の75件とは別に考えている。

原委員：前回の会議で自衛隊の位置付けが重要という意見が出たが、計画には記載がない。市の方針を明記したほうが良いのではないか。

金丸市長：館山市では、自衛隊の方にいろいろな形でイベント等に参加いただいている。市として隊の充実に向けた要望はしているが、特段、強調する必要は無いと考えている。

石井（信）委員：基本方針の「広域連携の取組の推進」では、取組体制についてももう少し具体的に示されていたほうが良いのではないか。

事務局：P8の「安心して楽しめる海の魅力の向上」の下から3段目に、3市1町での連携を具体的に記載している。それ以外については個別事業まで出していない。P23の「官民・広域連携によるまちづくりの推進」でも行政間の連携について触れており、これを基本的な進め方として位置付けている。

石井（信）委員：広域連携事業は、安房地域のどこの市町も掲げるだろう。安房地域の市町で審議会を設置するなど、同じチームで頑張っていく発想をもつことが大事。また、9月に南房総市が人口ビジョン・総合戦略のために、転入世帯へのアンケート調査を実施している。ほぼ同じ地域なので、南房総市で行われたアンケートを参考にしても良いだろう。県でもパブリックコメントを実施しているし、県や国などにも少し意識をもっていき、参考にできないか。

事務局：昨年度、館山市が実施した高校生アンケートでは、鴨川市・南房総市に所在する高校にも協力してもらい、その結果を鴨川市・南房総市・鋸南町に提供している。南房総市のアンケート結果についても、できれば館山市に提供していただき、施策に反映したい。

また、半島振興、有害鳥獣対策、公共交通などは広域的に対応していくべきものと考えている。取組体制については、都度、該各市町村に連携を要請していきたい。

望月委員：資料2のP6「マリンレジャー関連産業等の誘致」のKPI「企業訪問（トップセールス）件数」について、実績値が年間4件であるのに対し、目標値が5カ年で100件と大幅に増えているが、根拠はあるのか。

事務局：企業誘致への取組を強化しようと考えており、意気込みとして目標値を高く設定している。

トップセールスしたものが、すぐに結果に結びつくわけではないが、継続的な企業訪問が今後につながっていくものと考え、高く設定した。

また、国では企業版ふるさと納税が検討されており、ますますトップセールスが重要になる。目標達成に向けて努力していきたい。

望月委員：P20「シティプロモーションによる館山の魅力向上」にフィルムコミッションを入れなくて良いのか。

事務局：P7の「海の魅力を活かしたシティセールス」にフィルムコミッションを盛り込み、指標として「情報発信による各種メディア（Web・雑誌・テレビ等）への露出件数」を設定している。

望月委員：この資料を見ていると、度重なって同じ文言が出てくる部分があるので、この欄にも再掲してはどうか。

事務局：再掲も含めて検討させていただきたい。

② 第4次館山市総合計画「前期基本計画」素案について

（事務局より説明）

田中委員：基本的な点だが、資料4の基本計画は冊子になっていき、資料3の計画事業リストは庁内で共有するためだけのものか。

事務局：計画事業リストは、見せ方は変わるかもしれないが、施策の体系がわかるように、資料編で一覧としてお示ししようと考えている。

田中委員：計画事業リストの取組内容欄にまだ空欄がみられるし、計画本文の事業内容も施策ごとに書きぶりが異なっている。そういった書きぶりの差やリストの空欄はどうするのか。具体的に記載しているものから、簡単な記載に終わっているものまで、内容がバラバラなので、市民が見やすいよう合わせてほしい。

事務局：計画事業リストは、前回会議から体系等に変更があった箇所をわかりやすく説明するため、会議資料としてお示ししたもの。計画事業リストの取組内容欄に空欄はあるが、この部分を今回、素案の本編に落とし込んだ。

計画事業リストは会議資料のみとするため、今後の更新は予定していない。

本編に記載した事業内容について修正すべき箇所があれば、具体的にご指摘いただけるとありがたい。

原委員：事業内容を具体的に記載するのは、予算もあり難しいのではないか。「目標としてこのような計画を考えている」ということを明示したほうが達成に近づけるとは思うが、約束したという形になってしまうという点が心配。

事務局：継続事業はすでに実施しているものであるため、具体的な内容を盛り込みやすいが、新規事業はこれから検討していくような内容もあり、現時点で具体的にお示しできないものもある。

田中委員よりご質問のあった計画事業リストの取組内容欄については、資料4の計画本編の事業内容がそれに該当するので、その内容をご覧いただきたい。

また、今回の基本計画では、簡潔で分かりやすい事業内容の記載に努めていることと、前回450程度あった計画事業を今回240程度に圧縮しており、同様の目的・目標で実施する事業はかなり統合している。

従って、今回の1事業が、前回の計画でいう3～5事業分に相当するケースもあるし、課によっても記載に差があるのも確かである。再度、見直しを含めて検討させていただきたい。

石井（信）委員：資料4の基本計画の体系について、第1部基本計画・基本目標1となっているが、基本構想からのつながりもあるだろうし、これで良いのか。

事務局：基本構想からのつながり等については、今後修正していく。

石井（信）委員：事業だけで200以上ある計画になる。市民の皆さんが手に取って見ていただけるよう、体系表をつける等、分かりやすくしたほうが良い。

事務局：ご指摘のとおり、体系表や各事業の掲載ページを示すなど、一見して分かるように工夫したい。また、わかりづらい用語は注釈を加えるなど、対応していきたい。

石井（敏）委員：資料4、P88の「戦略的な行財政運営」は、事業数のボリュームが少ないのではないかと。各論は『行財政改革方針』に示していくということでの良いのか。

事務局：ご意見のとおり、ここでは広範囲にわたる内容をいくつかの施策にまとめている。特に「行財政改革の推進」については、『行財政改革方針』を別で定めており、事業内容は他と比べて大きなものとなっている。

田中委員：「現状と課題」を一通り読んだが、とても読みづらい。結局何なのかが、パッと見て分からない。一言にまとめる、小見出しを付けるなど、分かりやすくすべきではないか。箇条書きになっているのにもかかわらず、次に「しかし」から始まる文があるなど、読みづらく感じる。

事務局：もっと分かりやすい形になるよう、検討していきたい。

吉田委員：担当課についてはメインの課が記載されていると前回の審議会では説明があったが、P55の「住環境向上のための支援」では3つの課が記載されている。

P89の「保健・医療・福祉に関する総合相談体制の整備」についても、健康課が担当であるが、()して健康福祉部となっている。

P8の「地域包括ケアシステムの構築」も、高齢者福祉課単独では行えない事業であり、健康福祉部等、関係課の記載を増やすべきではないか。

事務局：ご意見のとおりと考えるので、追加する方向で関係部局と調整したい。

③ タウンミーティング実施結果について

(事務局より説明)

石井(敏)委員：出席者が男性に偏っているが、その理由は分かるか。

事務局：明確には分からない。各区長にも参加の呼びかけをお願いしたが、平日18時から19時30分という時間設定であったこともあり、女性は夕飯の準備等で参加しづらかったのかもしれない。

石井(信)委員：高齢の方が非常に多かったが、年齢層はどうだったのか。また、(タウンミーティングの主な意見について)計画体系ごとに意見をまとめていただいたが、地域ごとの一覧表もあれば、お示しいただけるとありがたい。

事務局：詳細な年齢構成は把握していない。アンケートは別として、会場での意見は、地区ごとにほぼ把握できているのでご提示できると考えている。

半澤委員：「学校の誘致」に関して意見が出ているが、具体的にどのような学校の誘致だったか分かるか。

事務局：会場の意見であれば確認が可能かもしれないが、アンケートの場合は難しい。

古橋委員：委員の方にお聞きしたい。タウンミーティングに参加してみて、どのような印象だったか。

元気な広場でタウンミーティングの案内をしたが、行きにくいという意見があったので、9月5日(土)に「まちづくりカフェ」として出前講座で計画等の話を聞く場を設け、企画課に説明いただいた。6名ほど参加があり、「策定のプロセスなど、知らなかった」、「今まで、自分たちが市政に参加していく場面がなかった」という意見が聴けた。

皆さんは、タウンミーティングに参加してみて、何か感じることはあったか、ご意見を伺いたい。

杉井会長：タウンミーティングに参加した方はいますか。ご意見をいただきたい。

溝口委員：女性は非常に少なかった。参加者は言いたいことがあって来ているという印象をもった。鳥獣被害の話や農家の人手不足に対する意見など、出席してみない

と分からない地域色を感じた。

半澤委員：ごみ袋の話や交通など、自分の生活に密着した要望が多かった。

石井（久）委員：町内会長が主体になって案内をしたので、男性や役付きの人の出席が多かった。私に言わせると、みなさん関心がない。（出なかった人に）あとでとやかくいう資格はないと思っている。

まず、タウンミーティングに出席し、自分の意見を言えば良いのに、そのような人は少ない。あとで批判をするよりも、自分が実践してから言っていたきたいと思っている。

田中委員：房南中が会場のときに出席したが、富崎地区の人が多かった。

市全体のことよりも、自分の生活や近所の話がほとんど。

60代以上の出席者が多く、若者はいなかった。

周囲の友人たちからも、ハードルが高い、自分には関係ないなどの発言があったので、もう少しタウンミーティングを身近にしていくためには、まちづくりカフェのように呼び方を変えるなど、工夫が必要だと思った。

金丸市長：会場の設定が良くなかったと反省している。執行部側と市民が対峙するような配置だったため、意見が言いづらかったのではないかと。

サークルなどを作って各職員が輪に入り、そこで意見を聴いたほうが良かったのではないかと考えている。

意見が言いたくて来ていただいている方が多いが、意見を言える方は良くて半分、大体は3分の1程度で、申し訳なかった。もっと多くの人が話しやすい環境をつくるべきだった。また、名称についても固い。もっと親しみやすくしたほうが良かった。

また、タウンミーティング以外にも、地域での会合がいろいろとあるので、その中に参加して意見を伺うこともすべきだったと反省している。

最初に私からお話しする場面があるが、話も長く、聞きづらかったのではないかと。とにかく反省点が多かったと思っている。

④ 今後のスケジュールについて

（事務局より以下を説明）

- ・小中学校絵画コンクールの審査・表彰
- ・パブリックコメントの実施

⑤ その他

以上